

【教育活動の名称】 バレーボール部

【副題】

【学校名】 近江八幡市立八幡西中学校

1 本校の概要

八幡西中学校は、昭和50年代の新興住宅地造成に伴う市内の急激な人口増加によって校区再編が行われた結果創立されました。

新興住宅地、農村地域や旧市街など様々な地域が混在しており、それぞれの背景を持つ家庭で生まれた生徒が通学しています。それゆえに教育や学校に対する考え方、期待度にも各地域、各家庭によって温度差があると考えられます。また、経済状態の厳しい家庭が多く見られ、ひとり親家庭、準要保護家庭の比率が高く、子育ての上で孤立している保護者も多く存在します。関係機関と連携し家庭支援の仕組みを構築する中で、学校としてできることを明確にして課題解決へとつなげていきたいと考えます。

創立から40年以上が経過し、地域や保護者の中にも本校の卒業生が占める割合が増加してきています。令和3年度に創設された学校運営協議会を中心に据え、卒業生や地域住民の力を学校運営に生かしていけるよう、今後は積極的な情報発信と協力依頼を行っていく必要があります。

2 取り組んだ内容

(1) 日々の活動について

週に5日、放課後と土日のどちらかで活動しています。日々の練習内容は、キャプテンと相談しながら決め、自分たちに足りないものは何かと、日々考えながら取り組んでいます。キャプテンを中心にチームで話し合い、アドバイスをしあえる関係になりました。先輩後輩の壁はなく、学年を超えてアドバイスをしあっています。

土日には練習試合を組み、日々の練習の成果を試しています。対戦相手にもこだわり、自分たちの弱いところに気づかせてくれるような相手をお願いします。試合、練習を問わず常にチーム内で声を掛け合い、ボールをつないでいます。秀でた選手はいないので、拾いきるバレーで、得点を取っているチームです。また、最初のサーブから攻められるよう、日々の練習から試合のイメージを持ち、緊張感をもって取り組むよう指導しています。その成果もあり、他チームの指

導者様からサーブを褒めていただくことが増えました。

(2) 公式戦について

この冬に行われたアミンチュ杯では、これまでで一番練習の成果が出せたと感じます。少し前までは、負ける原因が自分たちにあるとは考えられませんでした。最近では自分たちの弱いところ、改善すべきところに気づき、より練習に集中するようになりました。

結果として、試合に挑む子どもたちの表情に変化がみられ、試合の雰囲気も良くなりました。

大会初日、ストレートで勝った試合もありましたが、自分たちの流れをつかみきれずに失点する場面も多くみられ、大会中ではあったものの翌日へ課題を残す形となりました。

チーム内でのミーティングを経て臨んだ二日目は、自分たちのバレーで勝つことができましたが、2回戦では、集中力が途切れ相手のサーブが取れなかったことで、流れを持っていかれてしまいました。タイムアウト等の間に再度チームで話し合い、前日のミーティングでの確認事項、改善点を確認しましたが、惜しくも負けてしまいました。

しかし大会終了後、自チームの弱点を話し合う選手達の表情は良く、また次の大会に向けて前進すべく練習に励んでいます。

3 活動の成果

上記のような経験を通して、子どもたちがどんな練習にもひたむきに取り組むようになり、練習にも熱が入っているように感じます。夏の最後の大会に向けて、これからも練習や練習試合を通して、自分たちの弱点を改善していき、最後に子どもたちが満足のいく結果が得られるように全力でサポートしたいと思っています。

今回弘済会様より助成をいただきユニホームを新調することができました。新ユニホームで子どもたちの部活に臨む意欲がさらに向上しました。今後の大会が楽しみです。